

マスコミ関係各位

2019年12月11日

明治学院大学が瀬戸山美咲氏をゲストに演劇原論講座を開催 西堂行人文学部教授と対談／12月19日@横浜キャンパス

明治学院大学文学部芸術学科は、今、もっとも活躍している劇作家で演出家の瀬戸山美咲氏(ミナモザ主宰)をお招きし、12月19日(木)、横浜キャンパスで公開授業として、第5回演劇原論講座「社会に向かう演劇」を行います。

芸術学科「演劇身体表現コース」では毎月1回、学内で「演劇原論講座」を開催しています。この講座は、かつて東京大学で開催されていた自主講座「公害原論」に想を得たもので、大学本来の姿である、人々が自主的に集まり、自由に研究・議論する場となることを目指して、外部から演劇関係者を招き、学生を交えた自由闊達な討論を行っています。

第5回演劇原論講座にお迎えする瀬戸山美咲氏は、ノルウェーの銃乱射事件、日本のあおり運転による交通事故など、社会に隣接した問題に着目した演劇を創作しています。旧来の演劇と異なり、事件や戦争について被害者のみならず加害者の視点も取り入れ、歴史をシビアにかつクールに捉える、ロスジェネ世代の旗手です。瀬戸山氏に演劇人生を振り返っていただきながら、その鋭くジャーナリスティックな視点について、演劇評論家、西堂行人明治学院大学文学部教授が伺います。

瀬戸山美咲氏

劇作家・演出家。1977年、東京都生まれ。2001年「ミナモザ」を旗揚げ。代表作に『エモーションナルレイバー』、『みえない雲』(原作:グードルン・パウゼヴァング)など。2016年、『彼らの敵』で第23回読売演劇大賞優秀作品賞受賞。劇団外の作品にオフィスコトナー『埒もなく汚れなく』、椿組『始まりのアンティゴネ』(ともに作・演出)などがある。

ぜひ、この演劇原論講座の告知および取材をお願いいたします。



瀬戸山美咲氏



西堂行人教授

明治学院大学文学部芸術学科 第5回演劇原論講座「社会に向かう演劇」

- 日 時: 12月19日(木) 14:00~16:00
- 場 所: 明治学院大学 横浜キャンパス 5号館 521教室
(横浜市戸塚区上倉田町1518)
※お車でのお来場はご遠慮ください。
- 登壇者: 瀬戸山美咲氏(ミナモザ主宰)
- 聞き手: 西堂行人(明治学院大学文学部教授)
- 参加費: 無料 ■申込み: 不要 ■定員: 100名(先着順)
- お問合せ先: 明治学院大学総合企画室広報課 Tel 03-5421-5165

掲載のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当: 圓道・小川

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <https://www.meijigakuin.ac.jp>